



海南市
KAINAN

海南市の家計簿

(令和2年度決算)

令和3年10月
総務部企画財政課

令和2年度の海南市の一般会計の決算は、歳入では312億4,807万円、歳出では303億5,568万円となっています。とは言っても、金額が大きすぎてピンとこない方も多いと思います。

そこで、海南市の財政を身近に感じていただくために、令和2年度の一般会計の決算を5,000分の1の家計簿に例えてみました。

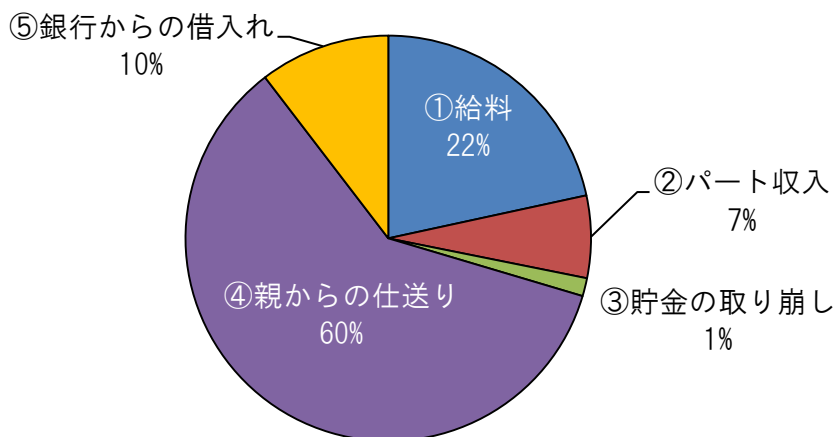
1. いったお金（収入）

①給料	135 万円
②パート収入	41 万円
③貯金の取り崩し	9 万円
④親からの仕送り	375 万円
⑤銀行からの借入れ	65 万円
合計	625 万円

家族で稼いだお金

… 185 万円

【いったお金（収入）の内訳】



一般会計とは、地方公共団体の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

一方、特定の目的のために設けられ、収支を明確にするための会計は特別会計といい、海南市では6つの特別会計があります。

そして、独立採算制の企業会計が、水道・病院です。



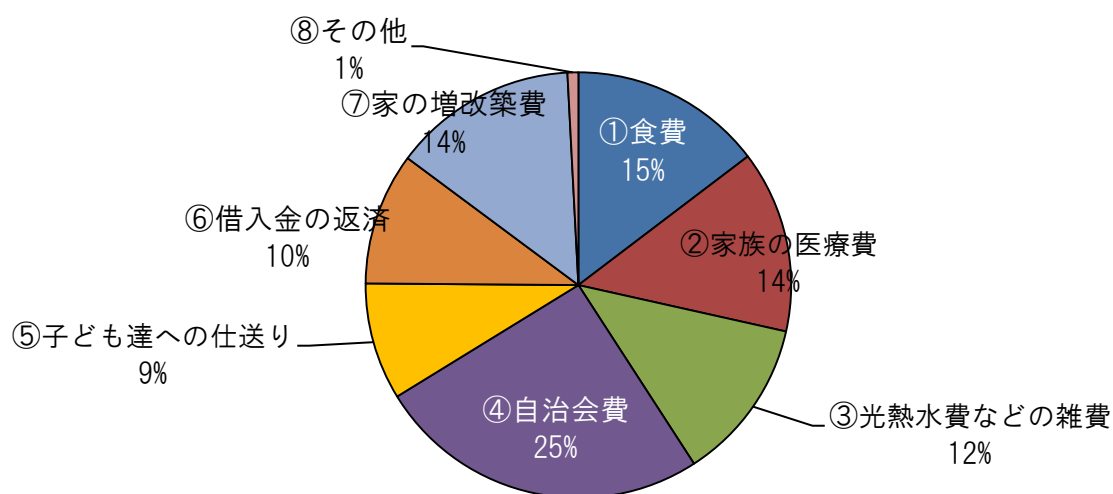
2. 使ったお金（支出）

①食費	89 万円
②家族の医療費	84 万円
③光熱水費などの雑費	75 万円
④自治会費	154 万円
⑤子ども達への仕送り	54 万円
⑥借入金の返済	61 万円
⑦家の増改築費	85 万円
⑧その他	5 万円
合計	607 万円

生活費

… 456 万円

【使ったお金（支出）の内訳】



入ったお金と使ったお金を見てわかるとおり、「家族で稼いだお金」より「生活費」が多いということになります。

ほかの多くの自治体にも言えることですが、海南市は「親からの仕送り」に頼った生活となっています。

ここ数年は、生活費のうち「家族の医療費」や「子ども達への仕送り」が増加傾向にあります。



⇒家計簿に例えたものは？（歳出）

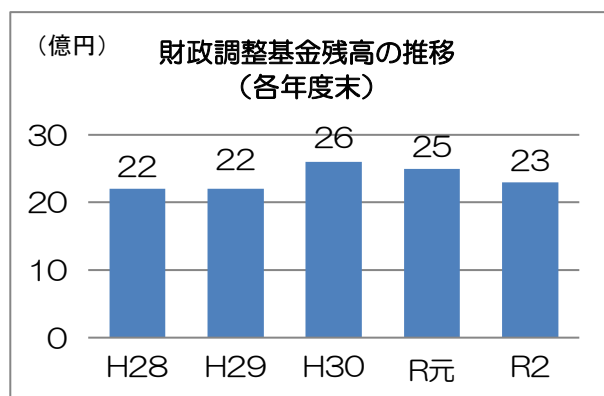
- | | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| ①食費 | ・・・人件費 |
| ・人件費： | 職員の給与、議員報酬、行政委員の報酬などに必要なお金。 |
| ②家族の医療費 | ・・・扶助費 |
| ・扶助費： | 生活に困っている人や障害者、児童、高齢者への支援に必要なお金。
(例：生活保護費、児童手当など) |
| ③光熱水費などの雑費 | ・・・物件費、維持補修費 |
| ・物件費： | 市で事務を行うのに必要な経費や、公共施設の光熱水費などの支払いに必要なお金。

(例：予防接種委託料、ごみ収集委託料など) |
| ・維持補修費： | 学校や公園などの公共施設の修繕に必要なお金。 |
| ④自治会費 | ・・・補助費等 |
| ・補助費等： | 団体などの活動支援に必要なお金。
(例：自治会振興助成金、五色台広域施設組合負担金など) |
| ⑤子ども達への仕送り | ・・・繰出金 |
| ・繰出金： | 法律や基準に基づいて他の会計に支出するお金。
(例：国民健康保険特別会計、介護保険特別会計への繰出金など) |
| ⑥借入金の返済 | ・・・公債費 |
| ・公債費： | 市が借り入れた市債(銀行などからの借入れ)の返済に必要なお金。 |
| ⑦家の増改築費 | ・・・投資的経費 |
| ・投資的経費： | 学校や道路、河川、公園などの整備に必要なお金。 |
| ⑧その他 | ・・・積立金、投資及び出資金、貸付金 |
| ・積立金： | 将来に備え、積み立てるお金。
(例：財政調整基金積立金など) |
| ・投資及び出資金、貸付金： | 病院や水道の企業会計などへの出資や、貸付に必要なお金。 |

3. 海南市の貯金と借入金は？

(1) 貯金はいくらあるの？

自治体が特定の目的のために積み立てた貯金を「基金」といいます。このうち、急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりした時に対応できるように積み立てたお金を「財政調整基金」といいます。



令和2年度は、厳しい家計事情から、貯金（財政調整基金）は減りました。

これからも一定額以上の貯金を確保できるよう、収入増や節約に努めます。

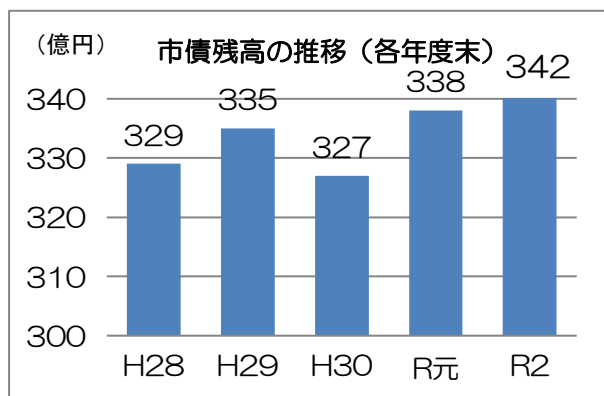


(2) 借入金はいくらあるの？

市民の皆様にご利用いただく学校や公園、道路などをつくるには、一度にたくさんの資金が必要ですが、これを限られた収入から用意するのは大変です。また、施設などを利用する人のうち、これをつくった世代の人だけが負担するのも不公平です。

そこで、家計で何年も使う住宅や自動車を買うためにローンを組むのと同じように、国や県の同意のもと、市は銀行などから資金を借入れ、長い間少しずつ返済を続けることにしていますが、この借入金を「市債」といいます。市債を活用すれば、たくさんの資金を一度に用意することができ、利用するどの世代の人にも公平になります。また、市債の中には、国が返済の一部または全部を肩代わりしてくれるものもあります。

ですから、借入金(市債)は単純にダメとは言えません。しかし、長い間返済を続けることになるわけですから、身の丈に合ったものにとどめておくことが大切です。



令和2年度は、大型事業の実施により借入金が増えました。

これからも借入金が増えすぎないように、道路などの建設を計画的に進めます。

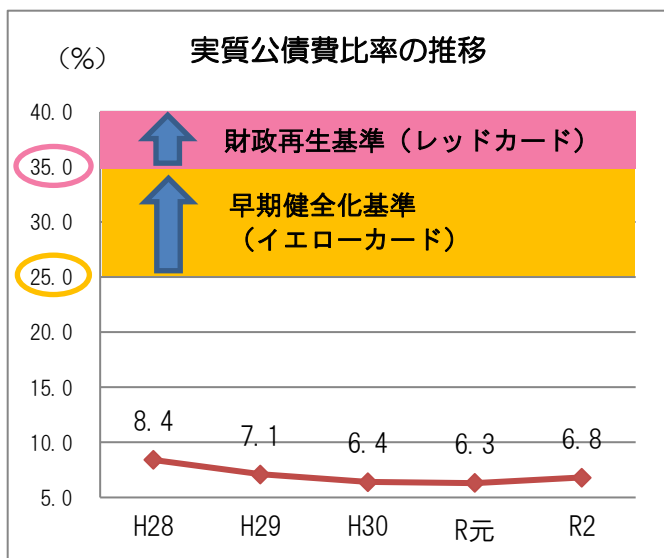


(3) 借入金が多すぎるのでは？

①実質公債費比率

収入に対する借入金の返済費用の占める割合を表した指標を「実質公債費比率」といいます。

数値が低いほど良いということになります。

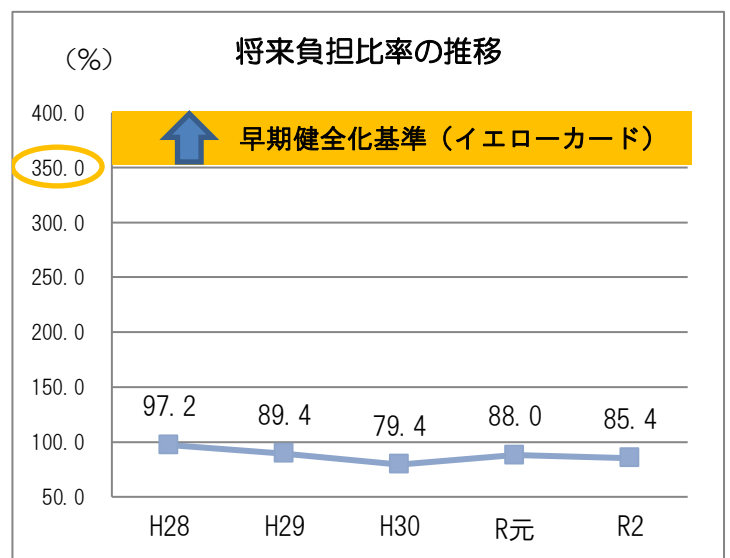


②将来負担比率

将来にわたって支払う必要がある経費の総額を、1年間の収入で割ったものを「将来負担比率」といいます。

家計に例えると、ローンの残高が年収の何倍になるかを計算したものとなります。

数値が低いほど良いということになります。



※ 市が借入金をしすぎないように、国の基準で1年間の返済額のイエローカード、レッドカードのラインが決められています。

実質公債費比率、将来負担比率ともにイエローカードのラインを下回っています。

今後も行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努めてまいります。

